



地球環境とわが国の現状



★地球温暖化

大気中の二酸化炭素の増加で地球全体の気温が過去100年で0.74℃上昇。
21世紀末の平均気温は最大で6.4℃上昇(過去100年の温度上昇の100倍)
世界で豪雨、干ばつ、熱波などの異常気象が急増。 今後はさらに増加する可能性が大きい

★水資源の枯渇

世界で7億人が水不足、年間180万人の子供が死亡
干ばつ、地下水の減少、湖沼の縮小、湿地の消滅が進行、アメリカやインドでは地下水が枯れ、農地が減少する

★広がり行く砂漠化

地球の陸地の4分の1が砂漠化、毎年6万平方キロの拡大する。 世界の9億人に砂漠化の影響が出る
今後、アジアで耕作可能な土地の3分の1、アフリカで3分の2を失い、食料不足と貧困により環境難民が増大する可能性が大きい

地球温暖化防止の最大テーマ「CO2削減」

2010年開催の「COP16」では各国さまざまな思惑が有り具体的目標は定まらず2011年南アフリカで開催予定の「COP17」に持ち越されました。

いずれにしてもわが国としてはCO2削減は大きなテーマです。

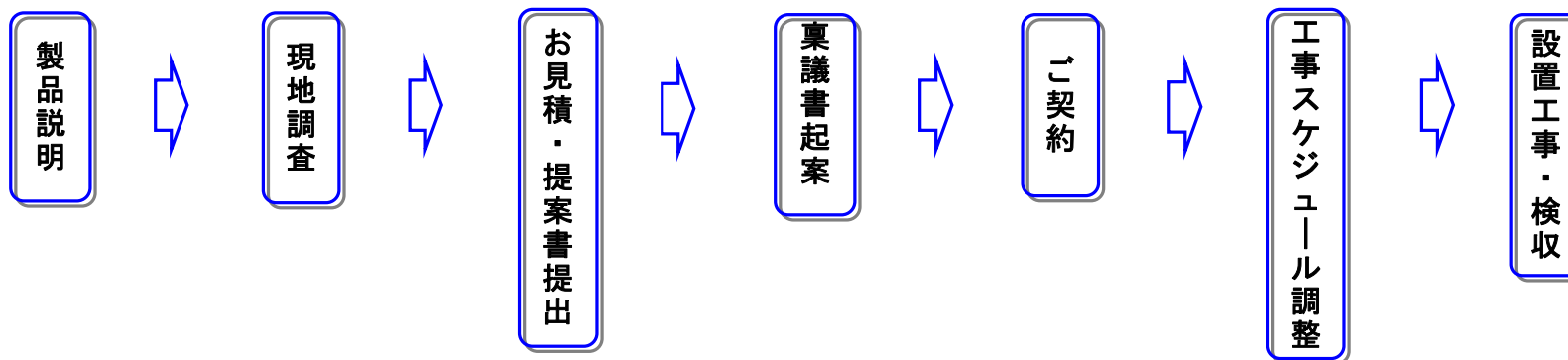
CO2削減に大きなウエイトが懸かっていた「原子力発電」が東日本大震災により大きな岐路に立たされています。

電力需要面では震災後の計画停電等その影響力は多大であります。

このような状況を踏まえ省エネルギーは「CO2削減対策」の必須事項であります。

導入までの流れ

導入の流れ



商品の仕組み、削減効果、導入実績等ご案内させていただきます

貴社の設備機器のメーカー型番使用状況等お聞かせください

調査票に基づきお見積・提案をさせていただきます

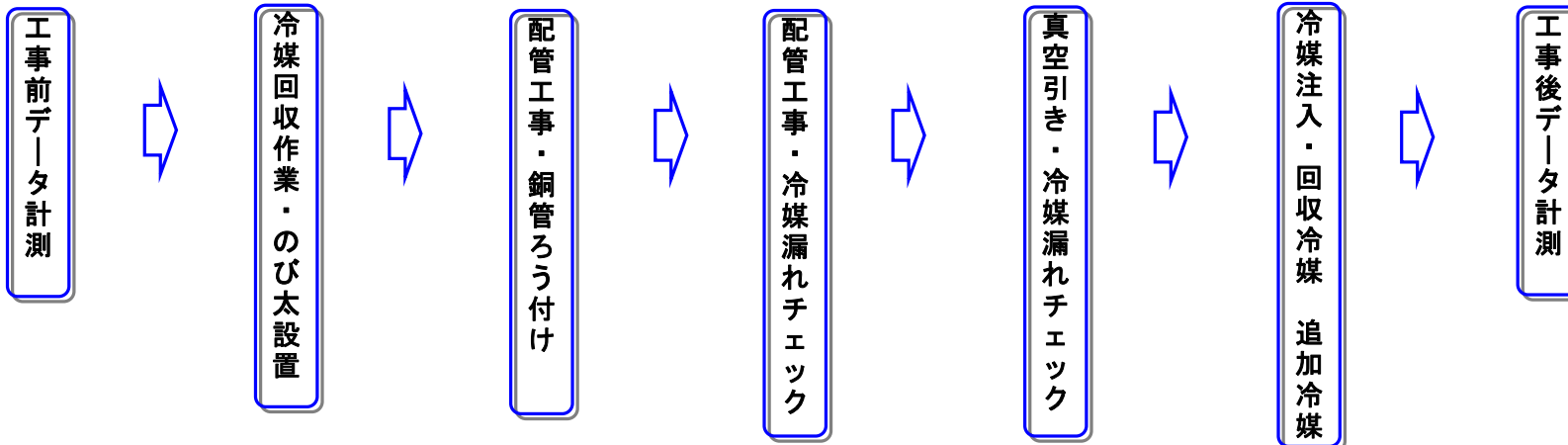
貴社内の稟議起案。決済等よろしくお願いたします

受発注書を取り交わしご契約をさせていただきます

貴社ご担当者様と詳細打合せをさせていただきます

設置工事完了後に対象機の検収をいたします

追設工事の流れ



計測
吸気・排気温度 電流値の測定する



冷媒回収
冷媒種別回収ボンベにて回収する



切込・接合
液管へ切込を入れのび太側配管を本体液管に接合ろう付けをする



漏れチェック
窒素、検知器、検知液で実施する



漏れチェック
真空引き約1時間実施する



冷媒補填
のび太分追加冷媒を注入する



計測
工事前同様に実施する

導入実績



のび太導入先(一部抜粋)
 コープさっぽろ(北海道札幌)
 旭化成パックス株式会社(埼玉上尾)
 株式会社ブリヂストン(静岡磐田工場)
 日本水産株式会社(愛知安城工場)
 住友ゴム工業株式会社(豊田・宮崎他)
 株式会社INAX(愛知榎戸工場)
 パナソニックED若狭株式会社(福井若狭)
 ミドリ電化(近畿一円店舗)
 凸版印刷株式会社(兵庫福崎工場)
 明治乳業株式会社(広島工場)
 東洋水産株式会社(福岡)
 医療法人仁誠会 名嘉病院(沖縄)

